



2020～21年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Weekly Report Niigata



国際ロータリー
2020～21 年度テーマ
ロータリーは機会の扉を開く



2020～21 年度
新潟ロータリークラブ会長
高橋 秀松

新潟 RC 3月第 3例会 (2021.3.16.) (書面例会併催) No.3357

(1) ロータリーソング「我等の生業」ピアノ演奏

(2) 高橋 秀松会長挨拶

先週はロータリー財団について話しましたが、財団の大きな事業の一つに、ロータリー平和センターという部門があります。今日は、ロータリー平和センターについて調べてきましたので紹介します。

私は「ロータリー平和センター」はどこかにその組織があって、平和にかかわる事業を専門的にしているところかと思っていました。しかし調べていくと、平和センターは、財団の使命である「世界理解と平和」を達成するための、教育プログラムでした。ポール・ハリスは二度の世界大戦の中を生き、世界平和の難しさを痛感し、生涯、平和を切望したロータリアンでした。彼は1940年の世界大会での講演会で「友情・寛容・そして人の役に立つ」というロータリーの堅固な土台に、平和を築けば、世界の平和を達成し、それを恒久的なものにできると、私はためらわずに言うことができます」と述べています。

平和センター構想は、ポール・ハリス意思を受けて、1996年に没後50周年を記念する平和プログラムを作ろうと発案されました。当初は平和学を中心としたロータリー大学創設が検討されましたが、困難と判断し、むしろ平和学に優れた大学の中にセンターを設ける事となりました。世界の平和に貢献したいと願い、活動する人々を迎え入れ、スキルを高め再び世に出ていくプランが、プログラムとなった訳です。

財団の最も新しい奨学金プログラムとして、2002年に創設されました。世界平和の実現と紛争の解決に寄与できる人材育成を行うことを、目的としています。世界5か国6大学と提携し、選出された学生が、修士課程で平和と紛争解決の学位を修めることとなっています。日本では国際基督教大学がその一つとなっています。ロータリーの奨学生であった元国連難民高等弁務官であった緒方貞子氏も教鞭をとられていました。

毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ130名の奨学生が、世界中から選ばれ、ロータリーから全額支給の奨学金が授与されます。奨学金には、授業料・入学金の全額、滞在費(宿舍・食費)、往復航空券、インターンシップと実地研修などの、すべての費用が含まれます。

創設されて以来、ロータリー平和センターは1,400人以上の奨学生を輩出してきました。これらの奨学生は現在、115カ国

以上で活躍し、政府、NGO、軍、教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮しています。

現在、格差が広がる社会の中で、民族、宗教、テロ、政争など内戦、紛争が絶えまなく続いています。平和が遠のく感があるからこそ、このプログラムの重要性が高くなってきています。たまたま本日、3月16日は53年前、「ソンミ村虐殺事件」のあった日です。

覚えていらっしゃるでしょうか？ ベトナム戦争中アメリカ軍兵士が、ベトナムのソンミ村で、非武装のベトナム住民を虐殺した事件のあった日です。この事件が明るみになることで、アメリカでも世界的にも、反戦運動が盛り上がるきっかけとなりました。日本では「ベ平連」ベトナム平和市民連合が活動し始めたわけです。平和を維持し、続けるには大変な、労力、努力が必要と思った次第です。

日本ではまだなじみが薄い、「ロータリー平和センター」ですが、この機会に関心をもっていただければと思っています。

(3) 退会ご挨拶・バナー贈呈

・第一生命保険新潟支社長 池上 茂樹君

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(高橋 秀樹委員長)

塚田 正幸君

米山奨学会寄付発表(堀坂 昌春委員)

塚田 正幸君 太田朗一郎君

仙石 正和君

青少年育成基金寄付発表(本多晃委員長)

仙石 正和君 津久井勝之君

本間 彊君 本多 晃君

(5) ニコニコボックス紹介(田中孝佳委員)

・坂井賢一君 結婚記念品ありがとうございました。おかげさまで40年という期間がたちました。奇跡です。又、先週の例会におきまして私の長男が卓話をさせていただきました。新潟放送、ロータリークラブの皆様に感謝します。

・塚田 正幸君 今日例会出席の為イタリア軒にきましたが
入り口でバツリ、ピアノ奏者の濱田道子さんに会い例会
場近くまで数分間わくわくデート気分でした。

(6) 幹事報告(佐藤 邦栄)

3月2日の理事役員会に於て3月30日の例会をオンライン
参加型にでもご参加を頂ける事と致しました。ご案内をメー
ル配信致します。オンライン (Zoom)でご参加を希望される
方は、事務局に連絡願います。オンライン例会でのニコニ
コ等の寄付の受付は出来ません。

(7) 会員スピーチ

「感染症に強い建物づくり」

清水建設㈱北陸支店新潟営業所所長 東海幸一君

「伊勢の神宮」

学校法人 神宮学院専務理事 梶坂昌春君

(8) 3月16日例会の参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
88	87	50	57.47

3月23日の例会予定 会員スピーチ

「大学は未来のための教育を行えるか」

新潟大学理事・副学長、医学部保健学科

教授 坂本信君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

米山奨学生からの感謝文

皆さん、こんにちは。米山奨学生のチュウシュンジェイと申します。
2年前から米山記念奨学生として採用され、毎月この場で奨学金を
いただいて、大変感謝申し上げます。7年前に、北海道の苫小牧高
専で留学しに来た時は、ロータリークラブと初めて出会いました。
当時は、苫小牧東ロータリークラブのご厚意で会員と他の留学生と
もにキャンピングとバーベキューしたり、新年会で一緒に食事する
など、親睦と交流が深まり、楽しく留学生活を送ってきました。こ
のように、ロータリークラブと触れて、母国から離れても寂しさを感じることなく、素敵な経験と楽しい思い出は、私にとって他に替
えることができない貴重なものです。

その後、新潟に来て大学と大学院に進学し、高専での雰囲気と大きく
違って、慣れない環境で生活が始まりました。幸いなことに、米
山奨学生に選ばれて、生活面での不安なことが解消され、母国に
いる母へ安心感が与えることができました。自分の研究や留学生活
がスムーズに進んでいることと夢が叶えて非常嬉しいと感じてい
ます。毎月の例会でロータリアンの皆様から奨学金を頂いた時に、

ご挨拶とお礼を伝えることで、奨学生としての責任を担うことを意
識しています。米山奨学金は私にとって奉仕と平和への責任感を持
たせてくれた、大事な存在です。近い将来には、社会へ還元する義
務を果たして参りたいと思います。また、カウンセラーさんからい
つも親切で話しかけてくださり、将来社会人になったら、仕事に頑
張ってほしいと暖かく見守ってくれています。ロータリアンは社会
の中、自分の職業分野で立派な人であり、奉仕精神を持ち、いつも
自分より他人のことを考える心を持っている人と改めて感じまし
た。留学生の研修会では、ロータリアンがお互い配慮することを見
えて、世話クラブ以外の奨学生にも優しくしてくれたことを見て、
大きく感動しました。米山記念奨学金は他の奨学金制度と違って、
奨学生の成長をしっかりサポートして、大きな精神の励みになって
くれています。

毎週の例会の卓話では、立派な経営者や芸術家など、日本の様々な
分野の最前線で活躍されている方々から貴重なお話を伺え、社会人
としての上手な話し方を学びつつ、その裏、人生に対する理解や考
え方などとても豊かになってきたと感じています。また、これまでの
の奨学生生活を通して大学と異なる社会空間で人生の先輩との交
流から生活の意味を新しく理解できました。私たちは他人との関り
の中で生きているのではないのでしょうか。各ロータリークラブで
もよく実践されている積極的な交流の大切さを学び、交流は文化・国
境を越え、様々な場面で使われ、それらのすべては、「理解」「平和」
のもとに成り立っているのだと強く感じています。これから、自分
もこの組織のために存在する人間になりたいと思っています。人と人
の間を繋げ、人間の心と心を繋げ、それに必要な場、環境を作れる
人間になるため、努力していきたいです。

この2年間は、新潟ロータリークラブから大変お世話になりました。
この奨学金制度による皆様からのご支援のおかげで、私は研究活動
に全力を注ぐことができました。その結果、海外での学会発表に参
加することが可能になって、とても大きな励みになります。研究以
外においても、他の国からの留学生と多く学友の方と交流の機会に
恵まれており、その経験を通して、架け橋になれるように努力し続
けたいと思います。そしてコロナ禍で、就職活動という山を乗り越
え、来月から広島県にある自動車部品製造会社に入社することにな
ります。就職活動は大変苦労しましたが、米山奨学金のおかげで、
学校の研究と両立することができ、心から感謝を申し上げます。
今月で大学院修士課程を修了することになりますが、これまでに
ご支援いただいているすべての方に心から深くお礼申し上げます。コ
ロナ禍で、経済面的な理由により学業を断念する大学生や生活が困
窮している学生の中、この危機を無事に乗り換えて、大変お世話に
なりました。最後になりますが、皆様の貴重な時間を割っていただ
き誠にありがとうございます。奨学生への支援、私たちの成長を
暖かく見守ることに感謝を申し上げます。今後につきましても、ご
支援いただいた皆様への感謝および「ロータリアンの奉仕の精神」
を忘れず、より一層努力し、社会に貢献できる人間を目指してい
ります。皆様からの恩恵は一生忘れられず、ロータリアンとの絆を
大切にしていきたいです。どうもありがとうございました

